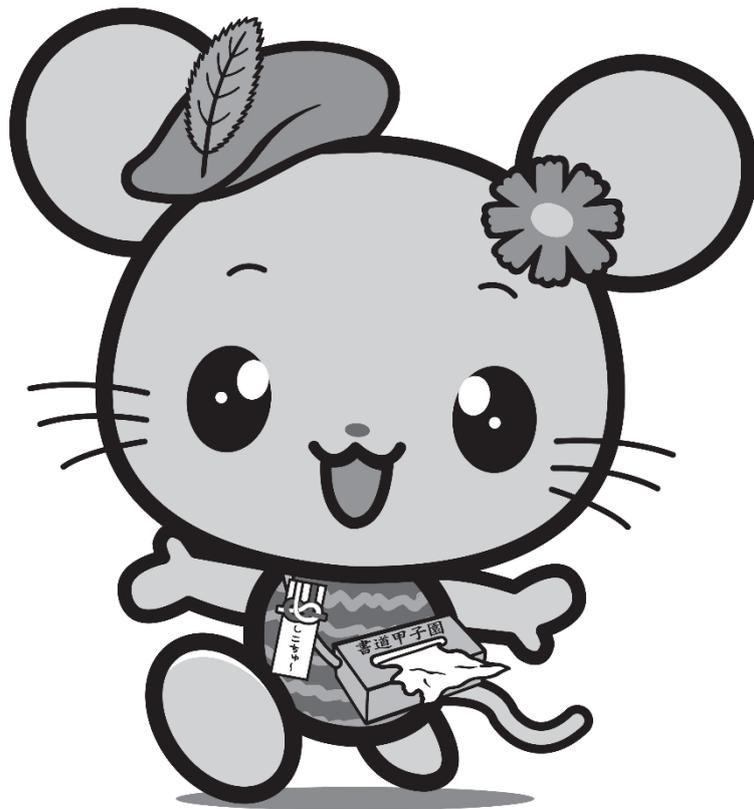


第 6 期 四国中央市自立支援協議会

第 4 回会議資料



2019 年 2 月 20 日

四国中央市自立支援協議会



## 第 6 期 四国中央市自立支援協議会 第 4 回会議

日時 2019 年 2 月 20 日（水）19：00～

会場 四国中央市市民交流棟 2 階会議室 1

1 開会の挨拶

2 議事

**【報告事項】**

① 第 6 期 四国中央市自立支援協議会専門部会及び連絡会活動報告・・・P8～P13

**【協議事項】**

① 第 6 期 四国中央市自立支援協議会特別設置部会活動報告・・・・・・・・・・P14～P16

3 その他

4 閉会の挨拶

## 1. 部会の開催状況

2018年度 第1回	6月13日(水)	第2回	7月31日(火)
第3回	9月3日(月)	第4回	10月1日(月)
第5回	11月5日(月)	第6回	12月10日(月)
第7回	1月9日(月)	第8回	2月12日(火)

## 2. 活動報告及び協議事項

○支援者向けアンケートの作成、配布、結果整理

支援者の目線から当事者及び家族等の障がい福祉サービスのニーズ調査・分析を行い、不足しているサービスの検証や充実するための方策の研究、未実施及び新たなサービス利用に関する調査・分析に活用していくため実施しました。

<概要>

【調査対象者】 障がい福祉サービス事業所、病院、行政機関 72件  
回収数 66件  
回答率 91.6パーセント

【調査期間】 2018年10月16日～2018年11月22日

【調査方法】 調査用紙を訪問配布（一部郵送）  
FAX、メール回収

【調査内容】 不足しているサービス、あれば良いと思うサービスをそれぞれ項目ごと（暮らし・日中活動・就労・余暇活動・その他）に自由記述で回答

## 3. 今後の活動予定

- 支援者向けアンケートの結果整理
- 家族向けアンケートの作成、配布
- 当事者向けアンケートの作成

## 【地域共生部会】

### 1、部会開催について

月1回程度実施（原則 第3月曜日 15：00～16：30）

第1回 6月18日 第2回 7月23日 第3回 8月20日 第4回 9月18日  
第5回 10月15日 第6回 11月19日 第7回 12月10日 第8回 1月21日  
第9回 2月18日 計9回実施済

### 2、活動内容及びこれまでの成果

#### ①ニーズに対応するサービスの充足の方策検討

市内各サービスの利用状況と実態把握を行うため、アンケートを実施（集計、分析予定）

#### ②福祉・介護等関係機関連携強化

##### ○四国中央市介護支援専門員連絡協議会研修会にて講演（実施済）

2018年9月14日（金）15：10～15：40 講演：『障がい者福祉について』

##### ○『支援者研修会』の開催（実施済）

2018年9月25日（火）19：00～21：00 福祉会館4階 多目的ホール

内容：話題提供『連携』～つながっていくこと～

座談交流会）7項目のグループに分かれて顔が見える関係作りを目標に、実施。

参加者：102名（16グループ）

#### ③住民理解促進

##### ○住民参加を伴う研修会（私も支援者、あなたも支援者）の開催

今年度は、7月の未曾有の豪雨災害を受け、災害時の対応から、地域共生について考える研修を企画しました。災害時は、障がいの有無にかかわらず、相互に支援し支援される状況になります。体験型のイベントで、防災、減災を学びながら、障がい福祉サービス事業所の出店等を通じて啓発も行いたいと考えます。

NPO法人 心のわ（障がいピアサポートセンター）共同開催。

開催日：2019年3月2日（土）10：00～15：00

開催場所：市民交流棟1、2階、消防防災センター、商工会館駐車場、1階会議室

内容：ぼうさい学校 ～わたしの防災対策、わたしの町の防災対策～

（詳細は別紙チラシ参照）

### 3、今後の課題

#### ○『ぼうさい学校』の開催

#### ○次年度に向けた活動計画の作成

## 【相談支援専門員連絡会】

### 1. 部会開催状況

2018年度	第1回	4月26日(木)	第2回	5月30日(水)
	第3回	6月27日(水)	第4回	7月27日(金)
	第5回	8月28日(火)	第6回	9月25日(火)
	第7回	10月30日(火)	第8回	11月21日(水)
	第9回	12月19日(水)	第10回	1月22日(火)

### 2. 活動内容

- ・事業所マップ第2版の配布
- ・法改正に伴う、新サービスや基準等の学習会
- ・被災地支援の支援者派遣報告
- ・各相談支援事業所からの困難事例の情報共有
- ・自立支援協議会専門部会の活動状況の共有と意見交換
- ・基幹相談支援センター受講研修報告
- ・東予相談支援専門員連絡会への意見集約

### 3. 今後の予定

- ・月1回の開催予定
- ・災害時個別支援プランの進捗状況
- ・相談支援の質の向上に向けて（困難事例の状況共有、事例検討）
- ・自立支援協議会への積極的参加
- ・東予相談支援専門員連絡会への意見集約

## 【拠点整備部会】

### 1. 部会の開催状況

2018年度 第1回 6月21日(木) 第2回 7月19日(木)  
第3回 8月23日(木) 第4回 9月20日(木)  
第5回 10月29日(月) 第6回 11月14日(水)  
第7回 12月10日(月) 第8回 1月15日(火)

### 2. 活動内容およびこれまでの成果

### 3. 今後の協議内容

別紙 四国中央市自立支援協議会 拠点整備部会協議報告書 参照

## 1. 四国中央市における地域生活支援拠点の整備類型について

### 併用整備型

地域生活支援拠点に求められる機能を整理し、多機能拠点整備型と面的整備型の両面から機能整備をはかる。

## 2. 必要な機能について

### (行政)

- ・ 夜間、土日を含めた余暇支援
- ・ 身体障がいのある方が平日も利用でき、福祉サービス以外の支援や卒業後の職業訓練も兼ねる機能を有した機関の整備
- ・ DV 被害者の生活支援

※ 行政機関のうち、入所施設がある太陽の家に拠点機能の一部を有する事が望ましい。しかし、現施設立地の危険地区指定という課題があるため、早急な解決が望まれる。

### (民間)

- ・ 福祉サービスを利用しない人でも利用できる場所。個々のニーズは異なるため、様々な選択肢を増やしたい
- ・ 地域移行のための安心生活事業を活用で、面的整備が可能では

### (行政、民間)

- ・ 緊急一時支援及び医療的ケアが必要な人の短期入所
- ・ コーディネーターの配置
- ・ 24 時間の相談、対応ができる体制

## 3. 具体的な連携

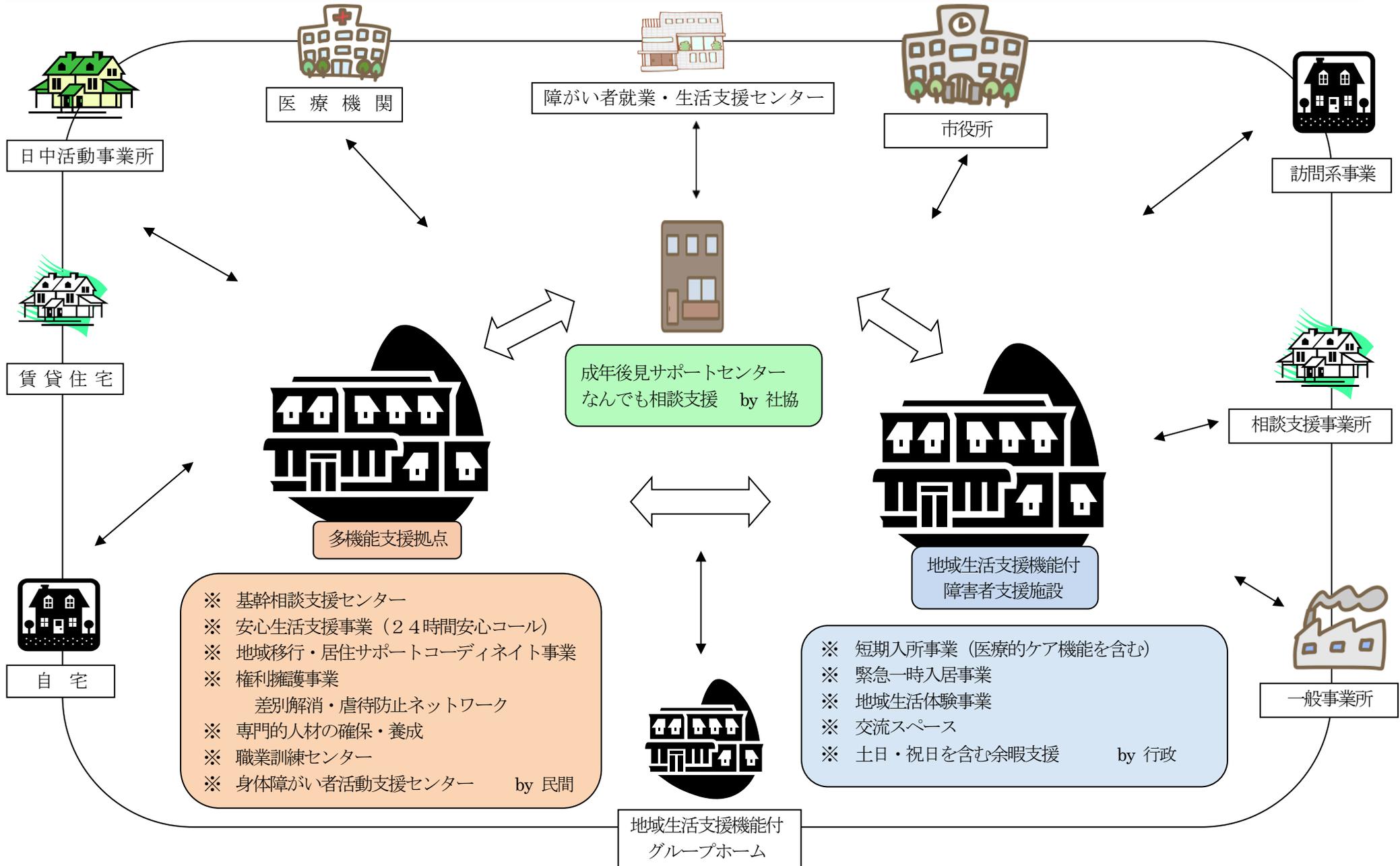
- ・ 成年後見制度利用促進拠点施設
- ・ 後見サポートセンター (仮)
- ・ 地域移行のための安心生活支援事業
- ・ 太陽の家改修後の地域生活支援機能

## 4. 今後の課題

- ・ 行政が本当に (緊急一時支援や 24 時間対応) 役割を担う事ができるのか
- ・ 交通手段の問題 → 資源開発部会と協力し検討を行う
- ・ コーディネーターの配置
- ・ 将来的な包括的相談支援体制を見据え、他分野との連携をどのように図っていくか

# 地域生活支援拠点整備イメージ図：併用整備型

(四国中央市自立支援協議会拠点整備部会案)



## 【特別設置部会】

### 1. 部会開催状況

2018年	第1回	6月26日(火)	第2回	7月19日(木)
	第3回	8月9日(木)	第4回	9月6日(木)
	第5回	10月2日(火)	第6回	11月6日(火)
	第7回	12月17日(月)	最終回	

### 2. 他施設見学

2018年	8月	2日(金)	社会福祉法人澄心	共同生活援助ばあゆ
2018年	10月	9日(火)	社会福祉法人聖風会	障害者支援施設道前育成園
			同	障害者支援施設ていずい
			同	就労継続支援A型野菜工房
			同	同 カフェ風の杜

### 3. 討議内容

- 生活体験施設及びグループホーム（共同生活援助）については、仕組みや現況が解らないということで「ばあゆ」の見学をすることとなる。
- 現場支援員による太陽の家の今後を考える会が並行して開催されることとなる。
- 現施設の土砂災害危険地区指定などを考慮すると、まずは拠点施設の整備が急がれる。
- 生活施設なので、小規模、全個室、ユニット方式、小舎が望ましい。
- 定員規模は、40名が望ましく、公立と民間で分担する提案に賛成である。
- グループホームについては、既存のものを利用できないだろうか。
- 移築するにしても、地理的な場所が明示されないと、具体的には検討しにくい。
- 公立部分についてあえて言えば、改築が次の数十年は、更なる改築は不可能であろうから、先進地の研究をし、現時点で考えられる、最も良い設計にしていきたい。
- 意思決定支援については、報告書のスキームで良いが、それを担保する職員研修をしっかりと継続実施するシステムにしておくべきである。
- 人間の尊厳の改善と共生社会の実現を主軸とする。
- 誰でもいつでも立ち寄れる開放性、地域社会と一体となつての運営
- 市民の負託に応えられること、外部評価の義務付け
- 小規模な家庭的雰囲気の中で暮らせる住居
- 緊急一時保護、短期入所機能は必須
- 保護者会と職員の合同研修
- 生活住居と活動場所の適当な距離が必要、メリハリがある一日を過ごす
- 支援しやすい職員動線や避難経路を考慮した設計
- 静かな場所を選びたい人もいる
- 買物、バス停、体育館・プールなどの公共施設へのアクセスが良い立地
- 自動車通行量が少ない場所
- D庁舎敷地など

### 4. 跡地利用

- 跡地については、土曜・日曜・祝日・夕食後などに利用できる余暇支援の機能を備えたものを設置していきたい。